

琉球病院

基本理念 <この病院で最も大切なひとは医療を受ける人である>

病院紹介文

当院は沖縄県の中央部に位置する自然豊かな環境にあり、病院を出るとすぐ傍にエメラルドグリーン美しい海が広がっています。精神科病床 289 床、医療観察法の病床が 37 床ある他、重症心身障害児（者）90 床も擁し、特に平成 31 年 4 月にはスーパー救急病棟が稼働、沖縄県の精神科救急医療を支えています。また DPAT（災害派遣精神医療チーム）を有しており、令和 3 年 9 月には沖縄県の災害拠点精神科病院に指定され、災害時に備えた災害時精神科医療提供体制を担っています。令和 3 年 11 月にはコロナ病棟を開設し、精神疾患を有する、軽症～中等症の新型コロナウイルス感染症患者を受け入れました。令和 5 年 6 月からはアルコール依存症専門病棟を再開し、沖縄県における依存症の中核病院としての重要な役割を果たしています。



【施設概要】 2023. 7. 1（データは 2022 年度実績）

1. 所在地 〒904-1201 沖縄県国頭郡金武町字金武 7958-1
2. 特徴
平成 27 年 7 月：全国初クロザピン治療専門病棟が稼働
平成 31 年 4 月：スーパー救急病棟が稼働
令和 3 年 11 月：コロナ病棟を開設（8 床）
令和 5 年 6 月：アルコール依存症専門病棟が再稼働
3. 診療科
標榜診療科
内科・精神科・神経科・児童精神科・リハビリテーション科
麻酔科・（歯科）
病床数 416 床
（重症心身障害児（者）90 床、精神 289 床、医療観察 37 床）
4. 薬剤師数（定数：4 名） 薬剤科長 1 名、調剤主任 2 名、薬剤師 1 名、助手 1 名
5. 主な業務
（ア）調剤 入院 13,992 枚/年、外来 11,737 枚/年（院外処方率 99.7%）
（イ）注射 入院 1,944 枚/年、外来 948 枚/年
（ウ）薬剤管理指導件数 979 件/年（81.6 件/月）
（エ）無菌製剤処理料 該当無し
（オ）外来化学療法加算 該当無し
（カ）病棟薬剤業務 未実施
（キ）チーム活動 ICT（感染対策向上加算 3）、NST（栄養サポートチーム加算あり）、褥瘡対策チーム、アルコール依存症家族教室
6. 特徴的な業務 治験と連携して治験薬の調剤・払出、調製、管理簿記載を実施
クロザピン調剤時には、検査値等を確認しながら調剤・監査を行う

アルコールリハビリテーションプログラム（ARP）への参加

7. 2022年度の取り組み
新型コロナウイルス感染症治療薬の情報収集、適正使用の推進
後発医薬品への切り替えの推進（使用体制加算1取得維持）
包括病棟を含めた薬剤管理指導業務の推進

8. システム・設備

| 項目 | 有・無 |
|----------|-----|
| 電子カルテ | × |
| 自動錠剤分包機 | ○ |
| 散剤監査システム | ○ |
| 水剤監査システム | × |
| 散剤分包機 | ○ |
| 安全キャビネット | × |
| クリーンベンチ | × |

9. 目標

令和5年度 琉球病院目標

1. アルコール依存症病棟の再立ち上げと展開を最優先で進める
2. 医師獲得の取り組みと医師のタスクシフト・タスクシェアの推進
3. 変化に応じた新型コロナウイルス感染症対策
4. 将来構想の具体化すなわちアウトリーチ・専門医療・救急医療のさらなる推進
5. 多職種チーム医療の発展と融合
6. 研究・研修・教育の充実とチャレンジする者の全面バックアップ
7. 良好な経営基盤を築き、質の高い医療提供と環境整備を進める

令和5年度 薬剤科目標

1. 琉球病院将来構想への参画
医師のタスクシフト対応（処方業務軽減など）看護師とのタスクシェア
2. 専門医療に対する薬物適正使用の推進
疑義照会・プレアボイド・処方提案などを通じて薬物療法の適正使用を推進
3. 変化に応じた新型コロナウイルス感染症対策
新型コロナ感染症治療薬の適正使用と情報提供の発信
4. チーム医療・病棟業務における他職種との連携の充実と医療安全への寄与
チーム医療（ICT/NST/DPAT等）病棟カンファ・教室、において薬物療法の適正使用を推進し、医療安全へ積極的に関与する。また治験業務への関りも強化する
5. 研修、学会等への積極的参加
病棟業務、日常業務等の学会発表と専門薬剤師取得への取り組み
6. 病院経営に貢献する
後発品の推進や採用薬・治験業務・薬剤管理指導業務件数の見直し等、経営的、実務的な参画